

令和3年度

村山総合支庁運営プログラム

評価票

令和4年8月  
村山総合支庁

# 令和3年度 村山総合支庁施策体系

## I 第4次山形県総合発展計画の推進

### 1 誰もが希望を持ち、いきいきと暮らし、多様な役割を担う「村山」の実現

- ① 結婚・出産・子育てを地域全体で支援する環境の整備
- ② 「村山」の未来を支える人材の確保と育成
- ③ 地域の暮らしを支える保健・医療・福祉サービスの更なる充実と連携の強化

### 2 「村山」の強みを活かし、交流や連携を基盤に持続的に発展する産業の形成

- ④ 関係機関と企業との連携による「村山イノベーション」の促進
- ⑤ 国内外の人々をひきつけ村山に賑わいをもたらす観光交流の拡大
- ⑥ 食と農が奏でる「美味し村山」の創造
- ⑦ 森林など豊かな自然を活かした地域の活性化

### 3 安全・安心な生活や、交流・発展を支える基盤の形成

- ⑧ 社会基盤を活かした隣県等との連携の取組みの強化
- ⑨ 安全・安心な地域づくりの推進
- ⑩ 連携中枢都市圏形成を踏まえた地域課題の解決と持続的な地域社会の形成

# 令和3年度 村山総合支庁 主要事業実施状況

## I 第4次山形県総合発展計画の推進

### 1 誰もが希望を持ち、いきいきと暮らし、多様な役割を担う「村山」の実現

#### 取組みの成果

##### ① 結婚・出産・子育てを地域全体で支援する環境の整備

K P I	むらやま広域婚活事業実行委員会で実施する出会いイベントでのカップル成立数					
	基準値（平成28～30年度平均）： 27組					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	28組	28組	30組	30組	32組
	実績値	13組	16組			
	進捗状況	策定時を下回る				
K P I	「多様な産後ケア事業」に取り組む市町数					
	基準値（令和元年度）： 5市町					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	6市町	7市町	9市町	11市町	全市町
	実績値	7市町	11市町			
	進捗状況	指標値どおりに推移				

#### 【令和3年度における評価と見直しの方向性】

##### <出会いの場の創出>

###### (評価)

- ・コロナ禍のため、感染防止対策を講じながら、交流・体験型のイベントを5回開催し、出会いの場の創出を図った。
- ・例年の約半数とした前年度から参加定員を増やして参加の機会を拡大した。（R2：男女各10名、R3：男女各12名）
- ・一部に参加者が定員に達しないイベントがあったものの、カップル成立数は前年度を上回った。（R2：13組、R3：16組）
- ・希望者に実行委員会主催イベントの企画会議や運営に参加してもらい、婚活イベント開催のノウハウの取得につなげた。（5回中1回開催）

###### (見直しの方向性)

- ・引き続き、感染防止対策を講じた上で実施し、女性参加者の拡大を図るため、募集方法や内容を工夫するとともに、カップル成立及び交際継続に向け、より実効性のある婚活イベントとする。

##### <子育て支援の充実>

###### (評価)

- ・産後ケアを実施している市町の取組みを共有することで、未実施の市町における事業化を促進した。

###### (見直しの方向性)

- ・利用者のニーズに合わせた支援の充実のため、事業内容だけでなく、利用者の感想や要望等も共有する機会を設ける。
- ・医療機関等の偏在により、医療機関は複数の市町から産後ケア事業の委託を受けているため、今後、産後ケア事業の利用者が多くなっても円滑な利用ができるよう、市町及び医療機関等の連絡調整の場を確保していく。

#### <保護者の対応力向上>

(評価)

- ・乳幼児の保護者等に対し、小児科医を講師とする小児救急医療講習会を5回開催し、子どもの急病に関する対処方法等の普及を図った。
- ・小児救急医療講習会等においてガイドブックを配布し、子どもの急病時の対処方法について正しい知識の普及を図った。

(見直しの方向性)

- ・引き続き、各市町や各地区医師会等と連携し、小児救急医療講習会の開催やガイドブックの配布を行い、子どもの急病に関する対処方法等の普及を図っていく。

#### <若者の子育てに対するイメージの向上>

(評価)

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、乳幼児と高校生とのふれあい体験については開催することができなかったが、オンラインによる子育て中の親や保育士等と高校生との交流会を開催することにより、若者世代に子育てについて具体的で前向きなイメージを持ってもらうとともに、保育の仕事に対する理解及び関心を向上させる機会を提供した。

(見直しの方向性)

- ・感染防止対策を講じながら、若者に乳幼児等とのふれあい交流や子育て支援を体験する機会を提供する。

#### <子どもの居場所づくりの推進>

(評価)

- ・村山地域みんなで子育て応援団の子育て家庭向けホームページ「むらやま子育てナビ」において、子ども食堂の開催情報を掲載した。
- ・「子どもの居場所づくり学習会」を3回開催し、活動実施団体や企業、市町等が子どもの居場所の大切さや居場所づくりの具体的な手法等について、理解と関心を高める機会を提供した。
- ・「子どもの居場所づくり学習会」で出された意見や、参加者に実施したアンケートの結果を基に、子どもの居場所づくりを推進するにあたっての課題を整理した。

(見直しの方向性)

- ・子ども食堂のマイナスイメージを払拭し、利用しやすい環境を整備するとともに、活動に関心のある方や理解のある方を増やし居場所づくりの裾野を広げる取組みや、居場所づくりの活動を継続しやすい環境づくりを進める。

#### 【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
むらやま広域婚活事業	200 (200)	・管内市町との連携により、村山地域の独身の男女に出会いの機会を提供する婚活イベントの開催など、広域的な結婚支援を実施（5回開催、参加者男性延べ47名、女性延べ47名）
むらやま若者子育て安心イメージアップ事業	114 (261)	・オンラインでの高校生と子育て中の親子や保育士等との交流会を実施（1回開催、高校生の参加者5名）

むらやま子どもの居場所づくり推進事業	74 (80)	・「子どもの居場所づくり学習会」を開催し、活動実施団体や企業、市町等が子どもの居場所の大切さや居場所づくりの具体的手法等について、理解と関心を高める機会を提供（3回開催、延べ84名参加）
計	388 (541)	

② 「村山」の未来を支える人材の確保と育成

K P I	若者の定着促進に関する企業情報などの情報発信サイト閲覧数					
	基準値（平成30年度）： 28,659件					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	29,000件	37,000件	45,000件	53,000件	61,000件
	実績値	33,320件	59,100件			
	進捗状況	指標値どおりに推移				
K P I	大学と連携した新たな地域づくりの取組数（累計）					
	基準値（平成30年度）： 1件					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	1件	3件	5件	7件	9件
	実績値	1件	1件			
	進捗状況	進捗又は横ばい				

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

<p>&lt;企業の情報発信力&gt;  (評価)  ・地域で働く良さ等について、企業で働く若手社員の声をSNSで発信し、若者の県内定着を促進した。  ・学生が必要とする企業のホームページ情報に関するセミナーを開催することにより、企業の人材確保と情報発信力の強化を支援した。  (見直しの方向性)  ・SNSで発信する際に動画等のより効果的な手法を活用するとともに、企業の採用戦略にとって重要なインターンシップ設計に関するセミナーを開催する。</p> <p>&lt;若者と企業との交流&gt;  (評価)  ・進学校の高校生を対象に、地域産業への理解促進を図るためのセミナーを開催した。  ・オールむらやま若者定着推進会議を開催し、産・学・官・金・労の関係団体が連携し、若者定着を図るための体制を強化した。  (見直しの方向性)  ・各高校の意向を踏まえながら効果的な交流の機会を設定し、大学卒業後の地元定着を促進していく。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>&lt;地域づくり&gt; (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天童市田麦野地区において、山形大学と連携して地域課題解決に向けた調査研究を実施し、地域活性化策に係る取組みの提案を行った。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも調査・活動を行えるようにオンラインを活用した取組み等を実施していく。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大の影響を見ながら、事業についての周知広報に力を入れていく。</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【令和3年度関連事務事業】 (単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
働いてよし、暮らしてよし 村山の企業情報発信事業	795 (795)	・山形大学の学生が管内の企業 25 社を訪問し、企業の魅力や地域で働く良さ等について若手社員にインタビューし、インスタグラムを通して情報発信 (本庁予算)
企業の採用力アップ支援事業	299 (312)	・企業の人事担当者を対象に、学生の就活状況に関する最新動向と、学生にとってより魅力的な企業のホームページ作成手法についてのセミナーを開催 (参加者 49 人) (本庁予算)
村山地域・地域再生総合対策事業	144 (150)	・山形大学と連携して、地域活性化策及び地域課題解決に向けた提案を実施 (1 地区)
計	1,238 (1,257)	

③ 地域の暮らしを支える保健・医療・福祉サービスの更なる充実と連携の強化

K P I	村山地域医療情報ネットワーク (べにばなネット) アクセス数					
	基準値 (平成 30 年度) : 25,058 件					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	30,000 件	32,500 件	35,000 件	37,500 件	40,000 件
	実績値	29,836 件	31,384 件			
	進捗状況	概ね順調に推移				
K P I	ひきこもり相談支援者等を養成するための研修の修了者数 (累計)					
	基準値 (令和元年度) : 116 人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	136 人	156 人	176 人	196 人	216 人
	実績値	116 人	116 人			
	進捗状況	進捗又は横ばい				

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

＜地域の医療・介護の確保＞

（評価）

- ・村山地域医療構想調整会議をオンラインで開催し、山形済生病院が地域の医療従事者に対する研修や施設・設備等の共同利用などに取り組む「地域医療支援病院」の名称を使用することについて協議し、その後の県医療審議会での承認につなげた。
- ・補助事業により在宅医療関係団体の取組みを支援するとともに、第7次山形県保健医療計画の中間見直しに際し、在宅医療専門部会において在宅医療提供体制の充実に向けた協議を実施した。

（見直しの方向性）

- ・べにばなネットについては、在宅医療への活用促進に向け、村山地域医療情報ネットワーク協議会において、調剤薬局や訪問看護ステーション等への利用拡大について検討を進める。
- ・村山地域保健医療協議会において、県保健医療計画（地域医療構想を含む。）の進捗状況について協議するとともに、べにばなネットの利用拡大に向けて、村山地域医療情報ネットワーク協議会と連携して取り組む。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応状況等を踏まえ、入退院支援の手引きのブラッシュアップを図るなど、入退院支援の連携を推進する。

＜ひきこもり当事者の社会参加促進＞

（評価）

- ・ひきこもり当事者及び家族に対する支援として、精神科医師や保健師による相談、家族教室、家族グループ交流、家庭訪問を実施した。
- ・「ひきこもり支援者等の養成研修」はコロナ禍により開催できなかったが、ひきこもり予防のために重要と考える「若者のSOSの出し方教育に関する研修」をオンラインで実施し、相談支援者の資質向上を図った。

（見直しの方向性）

- ・精神科医師及び保健師による相談や、家族の学習及び交流の機会の提供により当事者及び家族の支援を行うとともに、コロナ禍に対応した効果的な研修のあり方を検討し実施していく。

＜健康な食環境づくりの推進＞

（評価）

- ・事業所等給食施設（12施設）に対し栄養管理に関する支援と健康情報の提供を行い、利用者の食生活改善を推進した。
- ・食生活改善推進員リーダーや各市町栄養施策担当者、食育関係者を対象にオンラインを活用した研修会等を3回開催し、減塩と野菜摂取の増加に向けた食生活改善活動を支援した。
- ・幼児期からの望ましい食習慣の定着に向け「子どもと作る減塩・ベジアップレシピ集」を作成し、管内市町等に配付するとともに、県ホームページ等で情報発信した。
- ・県ホームページ等を活用し、減塩や野菜摂取の増加に関する健康情報を提供するほか、村山総合支庁食堂と連携し「野菜たっぷり定食」の販売（月1回）に取り組むなど、食生活改善についての普及啓発を図った。

（見直しの方向性）

- ・食生活に無関心な層や多忙で食生活を改善できない層が見られるので、地域や職場における健康づくりの取組みへの支援は、今後も継続して実施していく。
- ・生涯を通じた望ましい食習慣の定着に向け、コロナ禍においてもオンラインを積極的に活用しながら、地域住民の食生活改善に向けた取組みの機会を作っていく。

## 【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
ひきこもりからの再出発サポート事業	698 (919)	・ひきこもり当事者及び家族に対する精神科医師や保健師による個別相談(延べ241件)及び家庭訪問(延べ14件)を実施 ・家族教室(参加者34人)、家族グループ交流(4回開催、参加者延べ5人)を開催
健康な食環境づくり推進事業	231 (260)	・「子どもと作る減塩・ベジアップレシピ集」(700部)を作成し、管内市町(490部)、児童福祉施設等(146部)に配付 ・県ホームページ等を活用した情報発信
計	929 (1,179)	



## 取組みの成果

## ④ 関係機関と企業との連携による「村山イノベーション」の促進

K P I	ものづくり支援施策を活用し新たな事業や業務の改善に取り組む企業数					
	基準値： —					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	200 件	210 件	220 件	230 件	240 件
	実績値	207 件	210 件			
進捗状況	指標値どおりに推移					

## 【令和3年度における評価と見直しの方向性】

(評価)

- ・村山インダストリー倶楽部の取組み（企業経営セミナー、先進企業視察・情報交換会、企業間連携グループ勉強会）を通して、企業間連携の促進及び地域の産業力の底上げを図った。
- ・地域コーディネーターを中心に、地域企業への施策情報の提供、課題解決に向けた支援を行った。

(見直しの方向性)

- ・引き続き、企業間連携及び各種施策による支援に取り組むことにより、「村山イノベーション」を促進していく。

## 【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
むらやまものづくり企業連携促進事業	425 (534)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の離職防止とカーボンニュートラルへの対応をテーマとした企業経営セミナーを開催（参加者 48 人）</li> <li>・先進的な取組みを行っている庄内地域の企業視察及び参加者間での情報交換を実施（参加者 23 人）</li> <li>・生産性向上などに取り組む勉強会を開催（7 回開催、参加者延べ 36 人）</li> </ul> <p style="text-align: right;">(本庁予算)</p>
計	425 (534)	

⑤ 国内外の人々をひきつけ村山に賑わいをもたらす観光交流の拡大

K P I	観光者数					
	基準値（平成 30 年度）： 21,560 千人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	— ※1	22,600 千人	22,800 千人	23,100 千人
	実績値	12,152 千人 (直近値)	—			
	進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）				
K P I	外国人旅行者受入数					
	基準値（平成 30 年）： 137,928 人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	— ※2	266,000 人	297,000 人	328,000 人
	実績値	89,056 人 (直近値)	—			
	進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）				

※1 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う観光イベントの中止や県域を越える移動の制限など、令和3年度の動向について見通すことが困難であったため。

※2 新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る入国制限が行われており、令和3年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

＜新型コロナウイルスからの観光需要回復策の推進＞

(評価)

- ・域内周遊を促すため、東北DC（令和3年4～9月）特別企画や管内10箇所のスキー場等への誘客対策を実施した。
- ・首都圏等からの受入態勢を再構築するため、教育旅行誘致のための情報シート（タリフ）作成や、山寺英語ガイドと連携してのPR動画の制作、東北芸術工科大学等と協働しての新たな旅行商品造成等に取り組んだ。
- ・SNS（インスタグラム、ツイッター）を開始し、観光情報の発信に努めた。

(見直しの方向性)

- ・コロナ禍における新たな旅行スタイル（少人数化、分散化、滞在日数の長期化、早朝・深夜等の新たな時間軸の創出等）に対応した観光需要を創出するとともに、観光コンテンツのプログラム化を促進する。

＜外国人旅行者の受入促進＞

(評価)

- ・最上総合支庁及び関係事業者と連携し、県内在住外国人を対象に両地域の魅力あるスポットを周遊するモニターツアーを実施した。

(見直しの方向性)

- ・参加者からのツアーアンケートを基にツアー内容の改善に努め、一般ツアーを企画する。

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
農観連携推進事業	600 (600)	・農泊体験の企画・実施(夏・冬の2回開催) ・収穫体験を行える農園等の情報をパンフレット(20,000部)やWebで発信  (本庁予算)
地域資源を活用した着地型旅行企画構築支援事業	360 (360)	・東北芸術工科大学等と協働してものづくり企業や山形の食を巡る新たな旅行商品を造成・商品化し、Web及びフリーマガジン等で情報発信  (本庁予算)
「山寺と紅花」観光誘客推進事業	574 (574)	・仙台圏での紅花展示等による誘客施策や山寺での紅花の展示を実施するとともに、スタンプラリーキャンペーンや「冬の山寺」PR動画で情報発信(本庁予算)
村山の強みを活かした周遊観光促進事業	831 (831)	・東北芸術工科大学等と協働してものづくり企業や山形の食を巡る新たな旅行商品を造成・商品化し、Web及びフリーマガジン等で情報発信するとともに、「酒蔵とそば、ワイナリーと温泉」パンフレットを15,000部増刷のうえ配布  (本庁予算)
最上三十三観音観光誘客推進事業	623 (623)	・「最上三十三観音」の主な札所周辺を巡る旅行商品を造成・商品化し、Web及びフリーマガジン等で情報発信  (本庁予算)
計	2,988 (2,988)	

⑥ 食と農が奏でる「美味し村山」の創造

KPI	むらやま農産加工交流会会員の販売額					
	基準値(平成30年度): 7,600万円					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	7,800万円	7,900万円	8,000万円	8,200万円	8,400万円
	実績値	7,422万円	7,550万円			
	進捗状況	策定時を下回る				
KPI	さくらんぼの秀品率					
	基準値(平成28年~令和元年平均): 70%					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	70%	70%	70%	70%	70%
	実績値	67%	67%			
	進捗状況	策定時を下回る				

K P I	新規就農者数					
	基準値（令和元年度）： 127 人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	140 人	140 人	140 人	150 人	150 人
	実績値	165 人	158 人			
	進捗状況	指標値どおりに推移				
K P I	鳥獣による農作物被害金額					
	基準値（平成 30 年度）： 359 百万円					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	324 百万円 以下	308 百万円 以下	292 百万円 以下	278 百万円 以下	264 百万円 以下
	実績値	332 百万円 (直近値)	—			
	進捗状況	概ね順調に推移				

【令和 3 年度における評価と見直しの方向性】

<p>&lt;地域農産物の利用拡大&gt; (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旬のやまがた野菜を使用したオリジナル料理を村山地域の協賛料理店（22 店）で提供する「やまがた野菜料理フェア」を開催し、やまがた野菜の認知度向上及び消費拡大を図った。</li> <li>・仙台圏からの観光誘客と交流拡大に関しては、仙台市の旅行エージェントに対して、料理フェア期間中に協賛料理店を旅行企画商品に組み入れるよう働きかけを実施し、昨年度に引き続きバスツアーが 1 コース催行されるなどの成果があった。</li> <li>・村山地域の農産物を利用した 6 次産業化品（加工品）を集めた見本市を開催し、20 件の取引が成立した。</li> <li>・個別技術指導及び H A C C P 講習会の開催により、6 次産業化品（加工品）の商品力、販売力の強化を図った。</li> <li>・農業総合研究センター「食品加工支援ラボ」を活用した 6 次産業化品（加工品）の商品化を支援した。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがた野菜の認知度向上により消費拡大を図るため、やまがた野菜及びフェア開催について県民向けにより一層の周知を行うとともに、「やまがた野菜レシピ集」等を活用した料理教室など様々な機会を捉えて、やまがた野菜に関する情報を発信していく。</li> <li>・仙台圏からの観光誘客と交流拡大に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を見ながら、今後も継続的に商品が販売されるよう、働きかけを続けていく。</li> <li>・今年度の成果も踏まえ、今後とも 6 次産業化品（加工品）の商品力、販売力の強化を継続し支援していく。</li> </ul> <p>&lt;稲作&gt; (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生育状況や気象状況に応じた栽培管理技術情報等の発信や現地指導を行い、うるち玄米の一等米比率は概ね目標達成した。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質の高位安定化による産米の評価向上のため、土づくり、適期作業、水管理の基本技術を指導し、気候変動に対応した米生産を推進する。</li> <li>・収益を確保するため、直播栽培や I C T 技術の活用により、省力・低コスト栽培技術を推進</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

する。

#### <野菜・果物・花き>

(評価)

- ・すいかは、スマート農業技術の実証・普及を行い、産地の維持・強化につなげた。生産量は前年より増加した。
- ・えだまめは、栽培面積が微減したものの、早生品種の安定栽培技術の実証を通して、生産量は増加した。
- ・なすは、リアルタイム栄養診断を行い、追肥・灌水管理を指導した結果、生産量が前年より増加した。
- ・セルリーは、安全な土壌消毒の推進や適正な土づくり、普及指導協力員と協力した若手生産者への技術指導を行い、生産量は前年より増加した。
- ・啓翁桜は、新規栽培者を確保でき、さらに栽培志向者も現れている。また、経験の浅い生産者の栽培管理技術も向上した。
- ・いちごは、「おとめ心」の高設栽培技術に関する試験において、保温方法、施肥管理方法の検討を行ったが、安定的良質生産技術の確立には引き続き試験が必要である。
- ・さくらんぼは、チラシ配布や巡回広報の実施により、人工受粉作業が例年より多く実施されたものの、記録的な凍霜害の影響により、平年を下回る生産量となった。さらに、着色期が高温で経過したため、秀品率も目標値を下回った。各産地での研修会やチラシによる情報発信により、軽労的な仕立て方や大玉新品種「やまがた紅王」の導入は進んでいる。
- ・りんごは、村山管内の広域調査により発生状況を把握するとともに、関係機関と連携し、タイムリーな防除情報を発信することで、適期防除が徹底され、黒星病の発生を令和2年度に引き続き、少なく抑えることができた。

(見直しの方向性)

- ・すいかは、省力、軽労化技術の普及に取り組むとともに、新規就農者の育成を推進する。
- ・えだまめは、機械収穫に向けた栽培技術の実証及び食品分析を活用した中晩生品種の良食味生産を推進する。
- ・なすは、オオタバコガの発生活長把握による効果的防除及びリアルタイム栄養診断による施肥管理技術を推進するとともに、新規栽培者への基礎的栽培技術指導を推進する。
- ・セルリーは、ミニセルリーにおける実需者ニーズの高い階級割合の向上と省力的な灌水技術の検討を推進する。
- ・啓翁桜は、安定生産や経験の浅い生産者の技術習得支援に取り組む。
- ・いちごは、「おとめ心」の高設栽培技術確立に向け、施肥管理方法に加え、苗質及び低温期の奇形果低減技術の検討を行う。
- ・さくらんぼは、防霜対策及び結実確保対策に取り組む。また、軽労的な仕立て方の導入推進や先行販売及び本格販売を見据えた「やまがた紅王」の健全育成について、継続して取り組む。
- ・りんごは、黒星病の発生を防ぐため、防除の徹底を図る。

#### <和牛>

(評価)

- ・電気柵を利用した簡易放牧の実証調査区画を設け、実際に和牛(繁殖牛)を放牧したところ、粗飼料の確保に有効なものと確認されたため、当該簡易放牧の手順等を記載したマニュアルを作成した。

(見直しの方向性)

- ・当該マニュアルを活用し、意欲あるモデル地域において、電気柵を整備することで、和牛(繁殖牛)の簡易放牧を実践し、取組み状況を事例集として取りまとめ、普及を促進する。

#### <新規就農者育成・農業経営強化>

(評価)

- ・市町との連携による就農に関する普及啓発及び政府の助成制度等による支援により、新規就

<p>農者の育成が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農業をけん引する競争力の高い経営体を育成するため、「農業経営法人化・経営力向上相談会」を開催した。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家数の減少、農業従事者の高齢化等を踏まえ、新規就農者確保を更に進めていく。</li> <li>・農業の維持・発展のため、農業従事者の高齢化や米政策の見直し等に対応し、生産性・収益性の高い意欲ある農業者の育成に努める。</li> </ul> <p>&lt;農業・農村の形成&gt;</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地整備を契機とした新たな高収益作物の導入に向け、関係機関が連携を図りながら地域に適した営農計画づくりを支援した。</li> <li>・野生鳥獣による農作物被害について、管内市町・JA等で構成する被害対策協議会による研修会や情報交換の実施、侵入防止柵の設置や捕獲活動等の取組みにより被害額の軽減が図られた。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地元の要望に沿う農地整備の事業計画づくりや、高収益作物の導入の拡大に向けた営農計画の作成を支援して行く。</li> <li>・地域の実情に応じた効果的な野生鳥獣被害対策に取り組むために、地域ぐるみの対策方法の研修を実施するとともに、他地域への波及等、対策の広がりを図っていく。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【令和3年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
地域農産物の魅力発信と利用拡大事業	1,089 (1,239)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがた野菜料理フェアを11月に開催(協賛料理店20店、提供食数3,592食)するとともに、そのオープニングイベントを11月4日に開催(参加者15名)</li> <li>・やまがた野菜料理フェア期間中の、協賛料理店を昼食会場に組み入れたバスツアー商品の造成について、仙台市の旅行者への働きかけを実施(1コース催行)</li> <li>・「旬間カレンダー」によるやまがた野菜の入荷等の情報を毎月1回、旅館、ホテル、飲食店等に提供(51箇所) (本庁予算)</li> </ul>
6次産業化品の知名度向上・販路拡大支援事業	532 (632)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村山地域の農産物を利用した6次産業化品(加工品)を集めた「美味しむらやま」見本市を11月に開催し、出展者16、仕入企業14の参加があり20件の取引が成立</li> <li>・見本市の出展者等を対象に事前勉強会「商品魅力アップセミナー」を9月に開催(参加者16団体及び個人)</li> <li>・村山地域の6次産業化品を掲載したカタログ(1,000部)を作成し、見本市に参加予定であったバイヤーをはじめとした小売店、道の駅、飲食店等に配布 (本庁予算)</li> </ul>
地域資源を活用した商品力の高い農産加工品創造事業	431 (440)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むらやま農産加工技術研修会を7月に開催(参加者25名)</li> <li>・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理指導の実施(個別指導5事業者、研修会10回開催)</li> <li>・農業総合研究センター「食品加工支援ラボ」の活用等による商品化支援(10件商品化)</li> <li>・ホームページ「村山旬の市」を通じた継続的な情報発信 (本庁予算)</li> </ul>

「園芸大国やまがた」を支える村山地域の野菜・花き産地強化事業	794 (840)	・すいかのスマート農業普及に向けた実証、えだまめの早生品種の安定栽培技術の検討、なすの害虫防除、雑草抑制に関する実証、セルリーの黄化症状対策に関する実証、啓翁桜の省力的な花芽着生処理の実証等を実施 (本庁予算)
地域園芸産地技術開発・支援事業	369 (369)	・いちご「おとめ心」について、3月（収穫開始時期）の奇形果軽減対策や6月まで草勢を維持し連続収穫を可能とする肥培管理等の技術開発を実施 (本庁予算)
和牛（繁殖牛）を活用した地域農業の活性化事業	278 (300)	・電気柵を利用した簡易放牧の実証調査区画に和牛（繁殖牛）を放牧し、設置経費・労力や放牧牛の行動に係る調査を実施 ・調査データを用いて、簡易放牧の手順等を記載したマニュアルを作成 (本庁予算)
計	3,493 (3,820)	

⑦ 森林など豊かな自然を活かした地域の活性化

K P I	西山杉素材生産量					
	基準値（平成30年度）： 48,032 m <sup>3</sup>					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	50,000 m <sup>3</sup>	51,000 m <sup>3</sup>	52,000 m <sup>3</sup>	54,000 m <sup>3</sup>	55,000 m <sup>3</sup>
	実績値	29,417 m <sup>3</sup>	22,196 m <sup>3</sup>			
	進捗状況	策定時を下回る				
K P I	再生可能エネルギー導入及び地球温暖化防止対策の普及啓発に係る研修会等の参加人数（累計）					
	基準値（平成30年度）： 76 人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	90 人	180 人	270 人	360 人	450 人
	実績値	32 人	145 人			
	進捗状況	概ね順調に推移				

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

<p>&lt; 林業・木材産業の振興 &gt;</p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季素材生産技術研修会を実施し、年間を通じた事業実施による生産拡大の推進に取り組んだ。</li> <li>・西山杉等村山地域産材の利用拡大に向け、むらやま森林ノミクス推進セミナーや木材高品質化研修会を開催した。</li> <li>・次代を担う若者による意見交換会を2回開催し、企業間連携による地域材活用の試作品及びPRパネルを制作した。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西山杉等村山地域産材の更なる生産拡大のため、生産基盤整備と作業効率向上に加えて、森林経営計画の策定支援等により主伐・再造林を推進する。</li> <li>・カーボンニュートラル実現へ向けて、これまでの公共施設に加えて民間施設の木造化や内装</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

木質化等を促進する。

#### <木育>

##### (評価)

- ・木育展示・体験ブースに木育遊具・玩具等を新設し、木育拠点施設（県民の森）の機能を強化するとともに、講師の派遣、木育用機材貸出等により木育体験機会を創出した。
- ・木育体験プログラムの開発・普及の促進については、木育普及促進協議会でプログラムの検討・検証を行うとともに、出前講座を通じて試行実績を積み、新たなプログラムを2つ開発した。

##### (見直しの方向性)

- ・木育拠点施設（県民の森）の情報発信を強化して広く県民に周知するとともに、市町の子育て支援施設等との連携により木育体験機会の創出・拡大を図っていく。
- ・木育プログラムの開発・普及の体制強化を図り、幅広い年齢層に対応した木育を引き続き推進する。

#### <特用林産物>

##### (評価)

- ・原木ナメコ、菌床きのこの研修会を行い、新規生産者への技術指導を行った。
- ・観光ワラビ園のパンフレットや山形県山菜・きのこ振興会のホームページ等を活用し、消費拡大に向けPRを行った。
- ・インフルエンサーを活用し、ホテルの料理人及びITサービス運営企業を対象に、原木ナメコの魅力を発信する機会を通して知名度を高めるとともに、生産と消費の拡大につなげていくための普及活動ができた。

##### (見直しの方向性)

- ・原木きのこ、山菜等の栽培技術研修会を開催しながら、栽培技術向上と生産振興に取り組む。
- ・山形県山菜・きのこ振興会のホームページで販売店や特用林産関連イベント情報を引き続き発信していく。

#### <木質バイオマス>

##### (評価)

- ・パンフレットの配布やホームページでの情報発信により、一般県民や住宅設計者、工務店等に対し、木質バイオマス利用の意義やメリットについてPRすることができた。

##### (見直しの方向性)

- ・パンフレットやホームページ等を活用し、木質バイオマス利用の重要性について、引き続き普及啓発を行う。

#### <再生可能エネルギー>

##### (評価)

- ・「村山地域エネルギー戦略推進協議会」については、新型コロナウイルスの影響により書面会議による開催とし、情報の共有を図った。
- ・再生可能エネルギーの導入等に係る研修会等については、3回開催を予定していたところ、新型コロナウイルスの影響で2回開催となったが、実績値は概ね順調に推移した。

##### (見直しの方向性)

- ・「村山地域エネルギー戦略推進協議会」については、新型コロナウイルスの感染状況を考慮のうえ、状況によっては書面会議開催を検討し、管内市町等との情報の共有化や熱利用など分野別の導入可能性の検討を行う。
- ・再生可能エネルギーの導入等に係る研修会等については、オンラインでの実施など、新型コロナウイルスの感染防止を図りながら引き続き実施する。



## 【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
村山森林ノミクス推進(西山杉等利活用推進)事業	297 (365)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業事業体を対象とした高性能林業機械の稼働率向上に向けた冬季素材生産技術研修会を開催(参加者12人)</li> <li>・ 林業関係者意見交換会を開催(2回開催、参加者延べ22人) (本庁予算)</li> </ul>
むらやま木育推進事業	565 (622)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育展示ブースに木育遊具や玩具を設置し、木育拠点施設の機能を拡充</li> <li>・ 講師の派遣(2回実施、延べ5人派遣)、木育用機材の貸出等による木育体験機会の創出</li> </ul>
むらやま木育普及体制強化事業	233 (328)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ むらやま木育普及促進協議会を2回開催し、木育体験プログラムの検討・検証を実施</li> <li>・ 地域材を使った新たな木育体験プログラムの試行を2回実施</li> </ul>
計	1,095 (1,315)	

## 取組みの成果

## ⑧ 社会基盤を活かした隣県等との連携の取組みの強化

K P I	東北中央自動車道 <sup>※1</sup> と山形自動車道 <sup>※2</sup> の年間日平均交通量 (※1 南陽高畠～かみのやま温泉間) (※2 笹谷～関沢間)					
	基準値 (平成 30 年度) : 22,707 台/日 (※1 は山形上山～山形中央間)					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	— ※	27,000 台/日	27,500 台/日	28,000 台/日
	実績値	20,272 台/日	19,917 台/日			
進捗状況	その他 (新型コロナの影響で指標値を設定せず)					
K P I	県境を越えた地域間交流 (山形県・宮城県) の新たな取組件数 (累計)					
	基準値 (平成 30 年度) : 4 件					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	2 件	4 件	6 件	8 件	10 件
	実績値	2 件	5 件			
進捗状況	指標値どおりに推移					
K P I	山形・宮城間の災害時の相互応援等に係る研修会等の参加者数					
	基準値 (平成 30 年度) : 29 人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	40 人	40 人	40 人	40 人	40 人
	実績値	0 人 (未実施)	45 人			
進捗状況	指標値どおりに推移					

※ 新型コロナウイルスの感染拡大による移動自粛の影響により、令和3年度の動向について見通すことが困難であったため。

## 【令和3年度における評価と見直しの方向性】

(評価)

- ・新型コロナウイルスの感染拡大によりイベント等でのPRは困難であったが、山形の魅力を掲載したPRボックスティッシュを隣県のサービスエリアや道の駅等に据え置き、交流拡大を図った。
- ・管内市町や各種団体からの相談に応じて団体間の調整を図り、新たな地域間交流が行われた。また、新聞等による取組みの周知を図った。
- ・仙山交流促進会議について、宮城県と協議し、新型コロナウイルス感染拡大を防止するためWeb形式で行い、災害相互応援等に関する研修会を兼ねて「防災」をテーマに実施した。

<p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き山形の魅力を掲載したPRボックスティッシュを隣県のサービスエリア等に据え置き、高速道路ネットワークを利用した地域間の交流拡大を図る。</li> <li>・コロナ禍においても、ホームページやSNSなどの各種媒体を活用すること等により、各種団体の地域間交流の継続を図る。</li> <li>・災害時における自治体間の連携強化等を図るため、研修会等の開催時期や開催方法を見極めながら開催する。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
交流拡大のための高速道路開通PR事業	535 (572)	・東北中央自動車道のサービスエリアや県内外の道の駅等に、開通PRボックスティッシュを約2,300個据え置き、山形の魅力についてPRを実施
村山東部広域農道等愛称PR事業	597 (597)	・「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産に認定されたことを契機に観光振興と地域振興を図るため、広域農道等に設定される愛称を県内外に周知するための案内標識を対象路線に3基設置
仙山交流連携推進事業	427 (641)	・新たな地域間交流を創出するための取組みを実施 (宮城県との連携による民間交流への協力、関山街道マップの作成、山形・仙台広域交流推進協議会への参画)
計	1,559 (1,810)	

⑨ 安全・安心な地域づくりの推進

KPI	自主防災組織の組織率					
	基準値（令和元年度）： 89.8%					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	91%	92%	93%	94%	95%
	実績値	90.6%	90.7%			
	進捗状況	概ね順調に推移				
KPI	村山地域における土砂災害の危険性がある区域内の施設整備により保全される人家戸数（累計）					
	基準値（平成30年度）： 8,200戸					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	9,500戸	9,700戸	9,900戸	10,100戸	10,300戸
	実績値	9,543戸	10,007戸			
	進捗状況	指標値どおりに推移				

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

<p>&lt;自主防災&gt; (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災面における管内市町の連携強化や地域防災力の向上を図るため、管内市町防災・危機管理担当課長会議（オンライン会議）を開催し、避難所運営における自主防災組織の協力等について意見・情報交換を行った。</li> <li>・自主防災組織のリーダー育成を図るため、県防災アドバイザーを講師に「自主防災組織の活性化」をテーマとした研修会を開催した。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Y o u T u b e で研修用動画を視聴できるよう工夫を行った。</li> <li>・地域の要望を受け、管内市町の自主防災組織等の会合に出向き、日頃の防災対策や自主防災活動の重要性などについて出前講座を実施した。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町との連携や啓発活動により、新たな自主防災組織の結成や既存組織の実践力向上に向けた支援を継続して実施する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、自主防災組織リーダー等を対象とした研修会等の事業を実施する。</li> </ul>
<p>&lt;社会インフラ&gt; (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村山地域における土石流の危険性がある区域4箇所の施設整備を実施した。</li> <li>・建設業務に携わる市町の若手職員への研修会は、新型コロナウイルス感染防止のため、県内で、かつ小規模に開催し技術力向上を図った。</li> <li>・官民連携による学生を対象とした特別課外授業を開催し、V Rを使用した最新技術の紹介等若者に建設業に興味を持ってもらえるようP Rを行った。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合発展計画に基づき、土砂災害の危険性がある区域内の施設整備を計画どおりに進めるとともに、山形県河川・砂防情報システム等の活用により市町による適切な避難指示等の発令や住民の自主避難判断を支援する。</li> <li>・管内市町の土木技術力の向上に向けた研修会や学生を対象とした建設業に関する特別課外授業については、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら引き続き実施する。</li> </ul>

【令和3年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
村山地域防災市町ネットワーク推進事業	128 (294)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合支庁と管内市町(防災・危機管理担当課)との意見・情報交換会を開催</li> <li>・自主防災組織のリーダー等研修会をY o u T u b e を活用して開催(R4.3.31現在 視聴回数279回)</li> <li>・自主防災組織や町内会等を対象とした職員による出前講座を実施(3回開催、参加者延べ195名)</li> </ul>
社会インフラ整備・管理人材スキルアップ支援事業	100 (200)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業務に携わる市町の若手職員への研修会を開催(11回開催、参加者延べ206名)</li> <li>・学生を対象とした建設業に係る特別課外授業を開催(参加者24名)</li> </ul>
計	228 (494)	

⑩ 連携中枢都市圏形成を踏まえた地域課題の解決と持続的な地域社会の形成

K P I	地域課題解決や連携促進・強化に向けた研修会の参加者数					
	基準値（平成30年度）： 73人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	100人	100人	100人	100人	100人
	実績値	67人	75人			
進捗状況	進捗又は横ばい					

【令和3年度における評価と見直しの方向性】

<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期訪問や各種会議などにおいて、各市町の地域課題や広域連携に関するニーズなどを把握し、勉強会や研修会を開催した。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、勉強会をオンライン開催としたものの、開催回数が限られたこと等から参加者数が指標値を下回った。</li> <li>・安全な除排雪作業を啓発するポスター及び特に事故が多い高齢者の見守り啓発チラシを配布し、重大事故の発生防止を図った。</li> <li>・除雪ボランティアへの支援について、新型コロナウイルスの影響によりボランティアは中止となったが、オンライン交流会を開催するなど、次年度以降のボランティアにつながるよう努めた。</li> </ul> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き各市町の地域課題や広域連携に関するニーズなどを丁寧に聞き取り、課題解決につながる研修会等を、開催時期や開催方法を見極めながら開催し、市町支援の強化を図る。</li> <li>・雪害事故防止の取組みは、粘り強く継続して実施していく。</li> <li>・除雪ボランティアについては、新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で実施できるよう、実施団体と連携して取り組んでいく。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況
村山地域広域連携推進事業	1,877 (2,273)	
東南村山地域広域連携推進事業	116 (243)	広域にわたる地域課題解決に向け勉強会等を開催 ・村山地域移住・定住施策勉強会（参加者15人） ・広域連携に係る「自治体DX」勉強会（参加者45人） ・地域づくり人材育成研修会（参加者15人）
西村山地域広域連携推進事業	1,150 (1,262)	西村山管内市町の共通課題をテーマとした勉強会を開催 ・セミナー等でのZoom活用術（参加者24人） ・地域が主体となった移動支援（参加者17人） 西村山管内市町と連携した課題解決に向けた事業を実施 ・西村山地域公共交通ワーキングチーム（3回開催） ・寒河江工業高校、左沢高校におけるふるさと教育の実施（参加者71人）
北村山地域市町連携推進事業	611 (768)	「仙台となり村」として広域観光推進の取組みを実施 ・ホームページ・SNSを活用した北村山地域情報の発信 ・Instagramフォトコンテストの開催（応募件数292件） ・ホームページを活用した周遊観光クイズラリーの実施（応募件数1,085口）

		<p>若者定着・回帰促進に向けた取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生を対象とした地元企業理解促進のための「企業探求セミナー」の開催（参加者 114 人）</li> <li>・北村山地域の企業を対象とした採用力向上や魅力ある職場づくりに向けた「企業セミナー」の開催（参加者 27 人）</li> <li>・高校生を対象とした地元暮らし理解促進のための「地元で活躍する卒業生との交流会」の開催（参加者 114 人）</li> </ul> <p>広域にわたる地域課題解決に向け勉強会等を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北中央自動車道整備効果に関する勉強会（参加者 34 人）</li> </ul>
村山地域・地域再生総合対策事業（再掲）	144 (150)	山形大学と連携して、地域活性化策及び地域課題解決に向けた提案を実施（1 地区）
地域雪対策事業	621 (633)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な除排雪作業普及啓発ポスター（500 部）及び除排雪作業中の高齢者見守り啓発チラシ（16,000 部）を配布</li> <li>・行政や社会福祉協議会の職員等を対象とした「地域で支え合う除排雪体制づくり研修会」を開催（参加者 47 名）</li> <li>・雪かきに不慣れな移住者を対象とした「移住者のための雪かき教室」を開催（参加者 18 名）</li> <li>・中高生向け除雪ボランティアの参加啓発パンフレットを配布（2,500 部）</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により中止となった大学生除雪ボランティアについてオンライン交流会を開催（参加者 28 人）</li> </ul>
計	2,642 (3,056)	